

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名	FC.LIG				公表日	2025年 3月 31日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		体育館など借りて十分なスペースを確保している。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		子ども2~3人に職員1人は確保している。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	1	はじまりの会で一日の見通しが分かりやすいように視覚支援を用いながら伝えたり、集中が妨げられるような視覚刺激を極力減らすなど様々な環境配慮を行っています。日によって活動場所は異なりますが、トイレなどにバリアフリーがある施設(体育館、フットサルコートなど)をお借りして活動を行っている。	体育館での活動で他のスポーツがしていると聴覚や視覚情報が多く感じる。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	1	体育館は掃除をして綺麗に保たれている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	2	更衣室が設備されている。	貸し出しのため個別になる空間がない。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		アンケートを取っている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		朝礼やスラックでコミュニケーションを取っている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4		コンサル事業を入れるなど研修も行っている。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		会社全体が研修やセミナーなどの情報を発信している		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		日々の活動内容につきましてはお帳面にて記載させていただいております。現在、ホームページにて支援プログラムを公表するため準備を進めております。公表次第お知らせさせていただきますのでご覧ください。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		利用時に保護者様とやり取りを行うことに加えて、更新時には事前にアンケートをご記入いただいた上で保護者様と面談をさせていただき、ご報告と保護者様からのご要望、ご相談を踏まえて個別支援計画を作成しております。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		業務時間の中で支援会議を行っている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		放課後等デイサービス計画にある一人ひとりの課題を子ども達が楽しみながら解決できるような運動メニュー、多種多様な活動を日々考案して提供しております。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		モニタリング報告書を用いて行っている。		

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		放課後等デイサービス計画の内容からお子様一人ひとりのニーズに合った項目を選択、最低でも3つずつの支援内容を提案する事でお子様に合わせた支援計画の作成を行っています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		プログラムの共有、意見交換もしている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		毎回全く違う内容だと戸惑ってしまうお子様の特性を考慮しながらも基本的動作に必要なメニューは継続しつつ、日々新しいメニューを取り入れて療育活動を行っております。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3	1	集団活動が主である	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		練習メニューの共有で職員の役割、配置を共有している	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	1	SMSや朝礼で共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		お帳面に記載している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		半年に1度の支援計画の作成を行い、見直しをしている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	4			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4		子どもの意見を尊重している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		管理者が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	2		・そこまでの繋がり薄い
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	2		・そこまでの繋がり薄い
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	2		・そこまでの繋がり薄い
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	1	サッカーチームや他事業所との交流会などを定期的に行っている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	1		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		送迎時や面談の時にお子様のご様子などをお伝えしている。	

保護者への説明等	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	ご希望の方には資料をお渡しさせていただきます。また、以前は「ペアレント・トレーニング」をテーマにしたママキラ会を開催しました。またの開催をご希望の方は、コーチまでお気軽にお伝えください。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	内容に関しては、見学時に弊所の特徴や療育の考え方を説明させていただきます。また、ご契約時に重要事項説明書に沿って利用者負担等についてのご説明をさせていただきます。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	利用時に保護者様とやり取りを行うことに加えて、更新時には事前にアンケートをご記入いただいた上で保護者様と面談をさせていただき、ご報告と保護者様からのご要望、ご相談を踏まえて個別支援計画を作成しております。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	支援計画配布時に内容を口頭で説明しながら配布させていただきます。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	支援計画作成時に面談のお時間をいただき、お話を伺いながら必要な場合は助言も行わせていただいております。また、ご利用時にもご様子をご報告しながら必要な際は助言をさせていただきます。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	ママキラ会などで保護者様との交流がある。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4	FC便りを毎月発行させていただき、行事予定や活動概要を発信させていただいております。他にもブログ・各SNSでも活動の様子をご覧いただけます。また、評価結果はホームページで掲示させていただいております。利用予定表や送迎スケジュールに関しては個別に配布させていただきます。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	個人情報に関するものは鍵付きの書庫で保管しております。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	みんなの運動会やユニファイドを実施している。		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	全体会議で防災訓練などを行っている。	
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	全体会議で防災訓練などを行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	事業所で非常時の各マニュアルを作成しスタッフ間で周知している他、近隣の福祉施設や店舗などとの連携を持つことで地域で子どもを見守ることのできる環境づくりを心がけております。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	緊急度に応じてその場での電話での連絡、送迎時の口頭による説明、ご利用後LINEでの連絡といった方法を取らせていただいております。なお、判断につきましては現場に居合わせた責任者へ必ず行い責任者が行っております。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	朝礼でヒヤリハットを確認している。	

53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4			